



今号の一枚

睡蓮 (大阪体育大学浪商幼稚園)

園庭に睡蓮が咲きました。水面に浮かぶ優雅な姿に心が和みます。

撮影：松井美奈子園長



学校法人浪商学園 学園報 ちぬ No.065 令和6年7月11日発行

発行者：学校法人浪商学園 総務部企画室／発行責任者：野田達彦
〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1
TEL 072-479-3111 FAX 072-453-8972
学園ホームページ：https://www.namishogakuen.jp/
印刷・製本：株式会社毎日新聞大阪センター

Osaka University of Health and Sport Sciences / OUHS Namisho Junior and Senior High School
Osaka Seiryu Junior High School and Senior High School / OUHS Namisho Kindergarten

浪商学園報

令和6年7月11日発行
学校法人浪商学園 学園報

CHINU



ちぬ

学園広報誌 ちぬ の由来

浪商学園に勤務する教職員の交流を図るために発行された学園広報誌「ちぬ」。
茨木時代は校舎前（現在の浪商幼稚園前）を流れる安威川より名を冠した「あいがわ」でしたが、熊取移転に伴い「ちぬ」と改められました。
「ちぬ（茅渚）」とは奈良時代から見える和泉地方の呼称。「古事記」神武天皇条にも見え、大阪湾を「ちぬの海」ともいい、浪商中学校・高等学校、大阪青凌中学校・高等学校の校歌でも歌われています。

SPECIAL INTERVIEW

「これからの日本のハンドボール競技は、
オリンピックでメダル獲得をめざす強化をしていかなければ、
他の種目に置いていかれる」

ハンドボール女子日本代表（おりひめジャパン）監督
大阪体育大学・ハンドボール部女子監督

楠本 繁生

私にとっての SFGs

～今以上に卒業生が誇れる母校をめざして～

令和5年度事業報告



スペシャルインタビュー

日本代表チームを率いた楠本監督に、これまでの思いを語っていただきました。そのお人柄の魅力を探ります。

—— 約2年半にわたりハンドボール女子日本代表監督を務められ、大変お疲れさまでした。これまでの活動の中で、印象に残っている場面やできごとをお聞かせいただければと思います。

楠本 ありがとうございます。本当に多くのことを経験させていただきました。私が日本代表監督を務める中で取り組んだことは、「強化」と「普及」の二本柱を中心に、さらなる発展をめざしました。「強化」とは、ハンドボールはまだあまり知られていない競技のため、限られた予算の中で選手の育成や、チームのパフォーマンス向上をどう進めるかが課題でした。そのために、パリ・オリンピックへの出場を目標に掲げました。他の競技ではオリンピックに出場してメダル獲得をめざしますが、女子ハンドボールはこれまでオリンピックに出場していません。東京・オリンピックでは開催国として出場しましたが、自力での予選突破ではありませんでした。特にオリンピックアジア予選では、これまで1枠の出場権を韓国が獲得しており、ヨーロッパの各国と唯一競い合ってきました。韓国はオリンピックで過去2回優勝を果たし、20年間表彰台に上がり続ける強豪国です。そこに日本はなかなか歯が立たない状況でした。本来ならヨーロッパや各国を巡る長期遠征による強化合宿などが理想ですが、ハンドボール協会からの予算の制約や、各選手の日本リーグでの試合参加も考慮する必要があります。そのため、新たな取り組みとして各都道府県の支援を受けながら、強豪校の男子高校生との試合を通じてトップレベルの戦いを想定し、さらなる進化をめざして取り組んできました。

もうひとつの「普及」については、ハンドボール競技の普及活動はもちろんですが、選手たちに日本代表選手としての認知度を向上させることの重要性を伝えました。選手たちは地域の小中学生を対象としたハンドボール教室を自ら開催し、ハンドボールの魅力と、勇気あふれる競技であることを伝え、「普及」につなげるための交流を深めました。この取り組みは

ハンドボール女子日本代表(おりひめジャパン) 監督
大阪体育大学・ハンドボール部女子監督

楠本 繁生

地域の方々から多くの支援をいただき、選手たちは数えきれないほどの感動を経験することができました。

そのような活動の中で一番印象に残っているのは、やはりパリ・オリンピックアジア予選の韓国との決勝戦です。これまで圧倒的な強さを誇ってきた強豪・韓国を相手に、得失点差で引き分け以上なら日本の優勝が決まる試合において、最後の最後で逆転を喫し1点差で敗戦。勝つために何ができたのか。私のハンドボール人生に深く刻まれた生涯忘れられない試合になりました。試合会場には、日本リーグの全チームのスタッフや選手の皆さん、学園関係者も応援に駆けつけて来てくださり、日本リーグからは、「これだけ応援してもらえた代表チームは初めてだった」との言葉をいただきました。日本代表が勝ち進むためには、選手やスタッフだけでなく、所属チームや日本ハンドボール協会が果たすべき役割を結集し、一丸となってアジア予選を突破し、ヨーロッパに挑む姿勢を示さなければならぬとあらためて感じました。

—— 昨年8月に広島で開催されたパリ・オリンピックアジア予選を終えて、選手にどのような話をされましたか。また、4月にハンガリーで開催されたパリ・オリンピック世界最終予選までの期間を振り返ってお話いただけますか。

楠本 広島でのアジア予選(パリ・オリンピックアジア予選)に敗戦後、ホテルに戻ってからも選手たちは涙を流していました。この試合に重点を置き準備してきたため、「勝たせてあげられなくて申し訳ない」と伝えました。アジア予選でのオリンピック出場が持ち越されたため、日本代表に残された道は、11月の世界選手権もしくは翌年4月のパリ・オリンピック世界最終予選において、ヨーロッパの強豪国など世界の国々と戦い、残りの出場権獲得をめざし、険しい挑戦に挑んでいくことをあらためて確認しました。

広島で解散したあと、9月に本学で日本代表合宿を行いました。大阪ハンドボール協会からのご支援もあり、近畿圏や遠方から約100人の有志の方が集まっていたいただき激励会を開催していただきました。選手たちは多くの人の励ましに支えられ、同月から中国で開催された4年に1度の歴史あるアジア競技大会※1(通称、アジアのオリンピック)に出場しまし

「これからの日本のハンドボール競技は、オリンピックでメダル獲得をめざす強化をしていかなければ、他の種目に置いていかれる」

た。韓国はこの大会に過去30年間にわたり頂点に立ち続ける圧倒的な強さを誇り、広島でのアジア予選と同じメンバーで連覇を狙ってきました。日本代表は海外で活躍する選手が不在の中、韓国とのあまりにも悔しかったアジア予選決勝の敗戦を糧に、大舞台で王者・韓国の連覇を阻止し、男女を通じてアジア大会史上初の優勝を果たすことができました。選手たちの喜びあふれる姿を見て、私たちの「強化」の挑戦が実を結び、未来に向けた新たな一歩を踏み出せたことと確信しました。

—— アジア競技大会(中国)で弾みがつき、11月から開催の女子世界選手権(デンマーク/オリンピック予選)に臨まれたわけですね。

楠本 予選ラウンドでは、ドイツ・ポーランドというヨーロッパの強豪国を相手に、厳しい戦いに挑みました。初戦のドイツ戦で絶対に勝利し、選手たちとベスト8に進出するとめざしました。試合は最後の瞬間まで緊迫した展開が続き、試合終了1秒前に、1点差で逆転負けを喫しました。広島でのアジア予選と同様に負け方のインパクトがあまりにも強かった。次のポーランド戦では、チャンスは必ずやってくると信じて臨みましたが、終盤に連続得点を許し、結果は2点差で連敗。接戦に持ち込みながらも勝ちきれず、この状況は本当に苦しいものがありました。しかし、ヨーロッパ選手たちの高度な戦術や技術を間近で体験できたことは、日本代表にとって非常に価値のある経験となりました。そしてメインラウンド初戦では、オリンピック過去3連覇を成し遂げた世界的強豪国デンマークとの対戦が待ち受けていました。圧倒的なアウェイ(約1万人)の観衆の中、逆境に果敢に挑み続け、試合終了30秒前に同点に追いつかれましたが、残り5秒で鮮やかなスカイプレー※2が決まり、日本のハンドボール史に残る劇的勝利をつかみ、会場は歓喜の渦に包まれ今大会最大の衝撃と報じられました。※3

—— 世界選手権が終わり、ついにパリ・オリンピック世界最終予選(4月・ハンガリー)に挑戦しますが、モチベーションが高い状態で臨まれたのではないのでしょうか。

楠本 世界選手権で弾みがつき、チーム全体が熱い闘志を持って臨んでいましたが、世界選手権が終了してから再び代表選手が結集するまでの間隔が開いたため、選手同士の意思疎通に課題が生じました。さらに、けがに苦しむ選手が相次ぎ、接触プレーの練習が制限されたことにより調整は困難を極めました。勝利への強い意志はあっても、からだが追い

つかない状況でした。加えて、大会2日前に対戦相手が急ぎょ変更されるなど、日本代表チームは非常に厳しい状況に直面しました。試合は初戦で世界選手権4位のスウェーデンと対戦しました。体格差に苦しみながらも全力で追い上げましたが惜敗。次のイギリスには勝利を収めましたが強豪ハンガリーに敗戦し、トーナメント3位となりパリ・オリンピック出場権獲得は果たせず、目標はかないませんでした。日本代表チームがオリンピックの舞台に立つためには、真の力を全力で発揮することがいかに重要かを実感しました。

—— 日本代表監督を終えられて、選手やスタッフの方にどのようなお話をされましたか。

楠本 代表監督として、年間約200日以上を選手たちとともに過ごしてきました。今後ハンドボールを離れる選手も含め、日本代表選手として活動できたことへの恩返しとして、1年間はチームに貢献してほしいと伝えました。パリ・オリンピックはまだ始まっていませんが、次のロサンゼルス・オリンピックに向けて新たなスタートが切られました。再び日本代表選手として活動したい思いがあるなら、自分に厳しく、責任感を持って行動するように伝えました。これからの日本におけるハンドボール競技は、オリンピックでメダル獲得をめざすための強化をしなければ、他の種目に追いつくことはできません。今回の悔しさを忘れず、練習で苦しくなったときは、広島でのアジア予選を振り返ってほしいと伝えました。それが最高の励みになるはずですよ。

私の今後については、日本代表監督として国内外で築いた多くの人脈や経験を生かし、日本ハンドボール界の発展に尽力し、次の世代に夢と希望を与え続けていきたいと考えています。そのために、大阪体育大学・ハンドボール部女子が日本選手権※4で勝利を収め、ハンドボール界の水準をさらに高めていきたいと思っています。本学から日本代表に召集される選手を育成し、「体大の選手は違うな」と思っただけよう、選手発掘・指導者の育成など、さまざまな取り組みに全力を注いでいきます。

最後になりますが、大阪体育大学関係者の皆さまには、このたび代表監督として大学を離れた期間中、常に温かいご支援をいただきまして誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

—— 本日は貴重なお話をありがとうございました。まだまだ多くのお話を伺いましたが、すべてをお伝えすることができず、お詫び申し上げます。

楠本 繁生 くすもとしげお

2021年10月 ハンドボール女子日本代表監督 就任

(通算成績)

VS ヨーロッパ	5勝6敗
VS パンアメリカ	2勝1敗
VS アジア	15勝2敗
通算	22勝9敗

- 国内合宿 18回
- 欧州遠征 4回

ハンドボール女子日本代表おりひめジャパン
主な公式大会

2021年11月	第25回世界選手権(スペイン)
2022年11月	第19回アジア選手権(韓国)
2023年8月	パリ2024オリンピック 女子アジア予選 Hiroshima JAPAN-オリンピック予選-
2023年9月	第19回アジア競技大会(中国)
2023年11月	第26回女子世界選手権 -オリンピック予選-(デンマーク)
2024年4月	IHFオリンピック 女子世界最終予選 -オリンピック予選-(ハンガリー)

※1) 1951年から70年以上続く歴史ある大会。アジア諸国が参加する総合スポーツの国際大会 ※2) 「空中の格闘技」と呼ばれるほど激しいハンドボール、その中でも空中で連携する花形の魅力的なプレー。決まると本当に感動的です。 ※3) 女子世界選手権におけるパリ・オリンピック出場権は、すでに開催地として出場権を獲得しているフランスが優勝のため、2位のノルウェーが出場権を獲得しました。 ※4) 全国のトップクラスのクラブチームが参加して競い合う国内最高峰の大会

組織風土改革プロジェクトからの報告

私にとってのSFGs ～今以上に卒業生が誇れる母校を目指して～

普段からSFGsを心掛けていただいている職員の方に想いをつづついただきます。連載第2回目は、総務部/企画室担当/姫路文博さんです。

先日、6月1日(土)に大阪体育大学広報アンパサダーの任命式が、大阪市北区の帝国ホテル大阪で行われました。

この事業は、大学と同窓会との連携事業として開始し、大学広報活動の一環として、2018年、2019年に北海道支部で試験的に開始されました。しかしながら、コロナ禍で、一旦、中止となり、改めて、大学と同窓会とで協議を重ねて、今年度2024年から、4支部でのスタートする運びとなりました。

広報アンパサダーは、都道府県ごとに高校を訪問し、本学の広報活動を担当する方で、本学同窓会「摂泉会」に所属する同窓生が務めます。

今年度は、北海道3名、静岡県2名、長野県2名、沖縄県2名が原田学長から委嘱されました。



任命式では野田賢治浪商学園理事長、原田宗彦学長、長家秀博同窓会会長にご挨拶を頂いた後、アンパサダーに

任命書と名刺、ピンバッジが手渡されました。6月下旬より、アンパサダーの皆さまに高校訪問へ行って頂きます。

異次元の少子化が進み大学間の生き残り競争が激しい中、「卒業生が誇れる母校」、「受験生にとって魅力ある学校」作りを行っていくためには今後より一層の交友ネットワークの構築と連携強化が必要になってくるように思います。今後とも皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、浪商学園の行動指針、SFGsの17目標の浸透は一朝一夕に達成できるものではないので、継続的な取組が必要であり、一人ひとりが出来ることから行動に移すことで、教職員も誇れる職場になって行くように思います。

(総務部/企画室/姫路文博)

広報アンパサダーの方々

北海道支部：高村 直克、山下 薫、岡室 伊知郎

静岡県支部：山口 嘉一、大塩 正則

長野県支部：横林 和俊、岩井 正一

沖縄県支部：兼島 英樹、上原 健

(敬称略)



1. 令和5年度 事業報告書

学校法人 浪商学園 法人本部

- 各設置校の特色を尊重した教育方針に対して支援を行うため、中高、幼稚園については、定期的な戦略会議を行い、各設置校の計画に沿った内容になっているかの確認を行った。また、熊取キャンパスにおける連携強化を図るために、クラブ活動の在り方や、内部進学について「熊取キャンパス連携推進会議」を通じて将来的な視点で議論が行えた。
- 法人・大学職員の業務の効率化、業務内容の見える化をめざし、統一のフォーマットによる業務スキル基準表の作成を行った。
- 財政面に関しては物価高騰など外的要因に対応するための堅実な予算編成を行った。また長年の課題である前島校地売却については校地をとりまく環境や地域の要望などの情報収集、大阪府や高槻市との折衝を行った。
- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによって、コロナ禍以前の活動に戻り同窓会などを通じて活動の幅を広げることができた。

大阪体育大学・大学院

- 令和6(2024)年度から学部名称をスポーツ科学部に変更するために、寄附行為や学則など多くの規程の変更を行い、教育方針に沿った教育カリキュラムも現代のニーズに応じた内容に見直した。また法人と協力しデジタルスポーツスクエアの整備に着手した。
- 専門知識の修得や戦略的な企画能力及び管理運営能力の向上等を目的とするSDの充実を図った。
- 令和5(2023)年度入学生志願状況を反省し、学生募集活動の見直しを行った。大きな変更点としては指定校推薦の評定値の見直しを法人・各設置校と連携して行った。
- ソフトバンク株式会社と「スポーツ指導におけるICT活用」で連携協定を締結した。スポーツ練習アプリ「AIスマートコーチ」、遠隔でコーチから動画等でレッスンを受ける「スマートコーチ」を利用し、中学校などで部活動指導にあたっている。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校

- 募集イベントにおいて、入試説明会、オープンスクール、学校見学バスツアーをはじめ、校内における募集行事の充実を図った。学校主催のクラブ体験会に加え、個別の体験会も設定し、一人でも多くの方に参加していただける機会を設けた。
- 総受験者数の減少により、有名私立大への進学数は低下したが、全体の大学進学率、進路決定率は過去最高を記録した。大阪体育大学ならびに医療系を中心とした提携大学との連携も促進し、個々が希望する多様な進路にも対応できる体制を固めた。
- 今年度は韓国の仁川大学の学生を本校で教育実習生として受入れ、国際交流をメインとした短期研修も行った。
- 中高大連携、各種サポートが身を結び、各運動部が優秀な成績を残した。

大阪青凌中学校・高等学校

- 中学入試に関しては、5月のオープンスクールは、地元の小学生に在校生・教員とのふれあいを通じて本学に親近感を持ってもらうことを一番の目標として実施した。高校入試に関しては、説明会の内容を教員の意見も取り入れ一新し、生徒たちの説明部分を増やした。
- 特進Sコース会議や教科主任会を通じて、日頃の教科指導が功を奏し、特進Sコースの「大学入学共通テスト」の平均点が9科目において全国平均点を上回る結果となった。
- 英国インターナショナルプログラムを再開し、7月17日から8月2日までの17日間、高校1・2年生の希望者を対象に、イギリス(ケントカレッジ)にて語学研修を実施した。
- 教員研修(危機管理、教科指導、教育課程)を1学期に集約して実施した。

大阪体育大学浪商幼稚園

- 少子化の中で今後優先枠対象者そのものが減っていくことが予想され、弟妹が他施設に進む現実を踏まえ原因の分析を行った。保育施設・他園との差別化を図った充実した教育内容をホームページで積極的に発信した。
- 教員のiPadを1年前倒しで更新を行なった。Googleカレンダーを試行し、情報共有の合理化効率化を図った。また、iPad活用し指導要録を電子化した。
- 茨木市役所子ども育成部と連携し、有識者による園児の看取りや発達検査を行うことができ、特別支援の視点で教育を見直すことにつながった。また、適切な就学指導に有効であった。

